

2016年度 物理学科新入生歓迎談話会

「ついに直接検出された重力波と これからの物理学・宇宙物理学」

2016年4月7日(木) 12:00 – 13:15

太刀川記念館 3階 多目的ホール



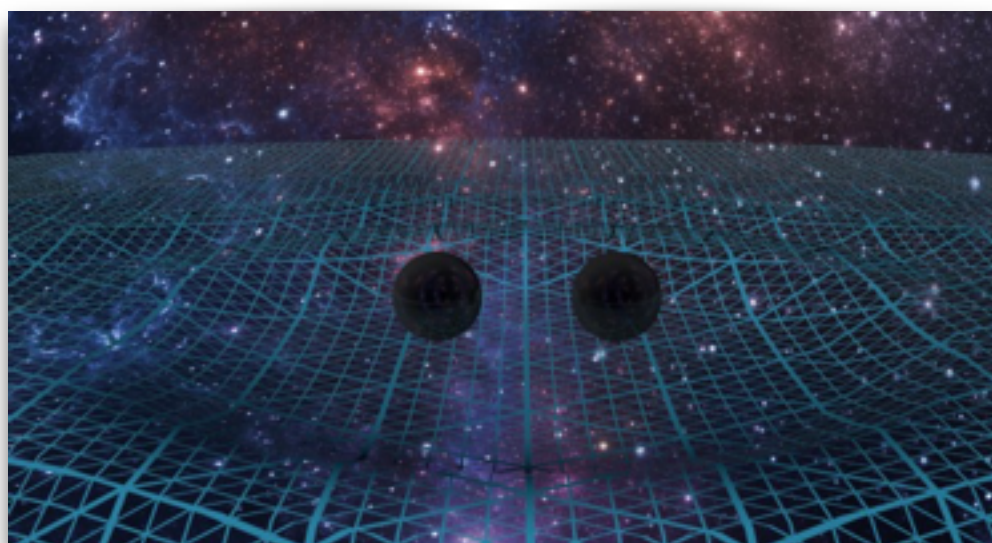
重力波とは、時空の歪みが波として伝わる現象です。今から100年前、アインシュタインが自ら作り上げた一般相対性理論にもとづいてその存在を予言しました。そして、2016年2月12日(日本時間)、アメリカの重力波望遠鏡LIGOにより重力波がついに直接検出されたという発表がありました。この重力波は、2つのブラックホールの合体により発生したと考えられています。これは物理学史に残る偉大な成果です。立教大学には宇宙と重力を研究している教員も多く、皆この発見にワクワクしています。今回の新入生歓迎談話会では、物理学科の4人の教員が重力波初検出の意義とこれからの物理学・宇宙物理学についてお話しします。

原田知広 「ついに受かった重力波」

小林努 「重力波で探る宇宙のはじまり」

内山泰伸 「マルチメッセンジャー天文学」

村田次郎 「宇宙は三次元の空間なのだろうか？」



談話会のあとは軽食を食べながらの新入生との懇談会があります。ぜひご参加ください。
談話会幹事 小林 努 tsutomu@rikkyo.ac.jp